

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 11 日現在

機関番号：14201

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24520746

研究課題名(和文) 20世紀前期の帝国日本における実学実践と教養主義をめぐる文化研究

研究課題名(英文) Cultural Studies of the Higher Commercial School in the 20th century Imperial Japan

研究代表者

阿部 安成 (ABE, Yasunari)

滋賀大学・経済学部・教授

研究者番号：10272775

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,100,000円

研究成果の概要(和文)：わたしたちの共同研究は、およそ20世紀前期に機能した高等専門教育機関としての高等商業学校をとりあげ、それにかかわる歴史資料を整備してその保存と公開と活用をはかることを目的とした。保存と公開のために史料目録を作成、発信し、活用のために研究の課題と論点を提示し、また高等商業学校のいくつかの具体相を明らかにした。わたしたちは高等商業学校史研究において、そこで修学した生徒を対象として、語学教育、調査の実施と報告書の作成、卒業論文などの執筆、海外修学旅行の企画と機能、社会人教育の実施とその機能を解明した。

研究成果の概要(英文)：We studied the 20 century the previous fiscal year Higher Commercial School of Japan. Higher Commercial School is a higher professional education institution in the Empire of Japan. We have established a historical records of negotiations commercial school. We wrote a history of higher commercial school from the point of view of practical science and culture.

研究分野：近代日本社会史

キーワード：高等商業学校 帝国日本 実学教育 教養主義 高等商業学校生徒

1. 研究開始当初の背景

(1) 19世紀末から20世紀前期の日本(外地をふくむ)に設置された高等専門教育機関としての高等商業学校については、これまで、旧制高等学校教育の研究においてその制度と概要が記されるくらいで、高等商業学校についてはその実態や具体相を、その問い方や論じ方をふくめて充分には明らかにしてこなかった。

(2) また、それぞれの高等商業学校が収集した図書や資料については、各学校の後継となる現国立大学法人経済系学部においてその目録が作成、公開されてきたものの、他方で、高等商業学校が作成した文書や刊行物については、その目録がきちんと作成、公開されず、高等商業学校の歴史資料は十分に活用されてこなかった。

(3) こうした高等商業学校史をめぐる史料と研究の状況をふまえて、わたしたちは、科研費研究成果公開促進費などを用いて彦根高等商業学校史料のデータベースを公開し、あわせて高等商業学校史研究の課題と論点を発信し、また高等商業学校史料についてのネットワークをつくって情報共有をはかり、本科研費研究にいたる基礎づくりをおこなってきた。

2. 研究の目的

(1) わたしたちは、高等商業学校史研究を狭義の制度史にとどめずに、そこでの教育と研究を実学と教養が交差する実践の場ととらえ、その展開を高等商業学校の生徒を軸としてたどることを課題とした。

(2) 高等商業学校の教官と生徒の活動の場は、日本の内地・国内にとどまらず、また高等商業学校自体が台湾、朝鮮、満洲にも設置されたことから、高等商業学校史を考えるフィールドを東アジアとして、帝国日本における高等商業学校史の再構成を課題とした。

(3) 上記課題を議論し解明するために、個別の調査研究項目を設定した。

生徒への語学教育：高等商業学校ではその校是や教育方針にあわせて英語以外にも複数の外国語を教授していた。その教育をだが、どのように担ったのかを明らかにし、それを各高等商業学校の特色や固有性とかかわらせて考えること。

生徒による調査、観光、報告、就職：高等商業学校の生徒は単独で、あるいは教官とともに調査活動をおこない、また修学旅行にでかけ、それらの報告書を執筆した。また卒業論文を正課として課したり、懸賞論文の募集を実施したりした高等商業学校もあった。それらの内実を明らかにし、さらには、在学時の学習・学修と諸活動を経てどういった就職を遂げたのかを明らかにすること。

高等商業学校の社会人教育：高等商業学校は正規の3年次教育をおこなう機関にとどまらず、いくつかの学校では地域の社会人教育を担う機関にもなっていた。その具体相や機能を明らかにすること。

3. 研究の方法

(1) 高等商業学校史料の調査を実施した。調査先をあげると、一橋大学附属図書館、神戸大学附属図書館大学文書史料室、長崎大学経済学部東南アジア研究所・同大学附属図書館経済学部分館、長崎県立長崎図書館、大阪大学アーカイブズ、横浜国立大学附属図書館、和歌山市民図書館移民資料室、和歌山大学経済学部・同大学附属図書館・同大学紀州経済史文化史研究所、滋賀大学経済経営研究所、和歌山県立図書館、富山大学経済学部・同大学附属図書館、高岡市立中央図書館、一橋大学小平研究保存図書館、山口大学経済学部、国立台湾大学総合図書館、中央研究院台湾史研究所、国立台湾図書館、となる。いくつかの機関で、それぞれが所蔵する高等商業学校史料の目録作成、史料撮影・複写をおこなった。

(2) 調査研究の課題や成果を共有するために、本研究グループ以外の研究者、ライブラリアン、アーキヴィストとともにワークショップを開催した。第1回2012年9月(滋賀大学経済学部)、第2回同年12月(長崎大学経済学部)、第3回2013年11月(滋賀大学経済学部)、第4回2014年11月(富山大学経済学部)。

(3) 作成した目録や執筆した調査記録・研究論稿のいくつかをWEB上に載せ、わたしたちの調査と研究の成果を広く発信した。

4. 研究成果

(1) いくつかの高等商業学校における語学教育の具体相を明らかにした。

(2) 東京高等商業学校(高等商業学校をふくむ)の修学旅行報告書の全容をとらえ、それをめぐる論点を提示した。また同校本科生の卒業論文についても分析した。

(3) 長崎高等商業学校の夜学講習講義録と生徒執筆卒業論文の目録を作成した。あわせて同校が実施した夜学講習受講者の具体相からその活動がもった地域社会における機能をとりわけ女子の教育機会となっていたことを明らかにした。

(4) いくつかの高等商業学校が実施した海外修学旅行の具体相をとらえ、それを東アジアというフィールドにおいて議論するための論点を提示した。

(5) 台湾に現存する高等商業学校関係史料

の所在を確認した。

(6) これまであまり試みられなかった高等商業学校にかかわる展示をおこなった。2012年一橋大学、2013年滋賀大学、2015年滋賀大学。

(7) 長崎高等商業学校研究館関係史料、彦根高等商業学校生徒執筆論文、彦根高等商業学校教官著書の目録を作成しつつある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計20件)

杉岳志、高等商業学校本科生の卒業論文について、一橋大学附属図書館研究開発室年報3、2015年、p*** (ページ未定) 査読無

坂野鉄也、東京商業学校・高等商業学校・商科大学・産業大学の外国語科目を担った日本人教員とその教育、滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.227、2015年、p1-26、査読無、
<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No227.pdf>

阿部安成、旧制高等商業学校の歴史資料と高商史を考える：課題と可能性、滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.214、2014年、p1-21、査読無
<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No214.pdf>

杉岳志、東京高等商業学校の蔵書構成の変遷、一橋大学附属図書館研究開発室年報2、2014年、p3-18、査読無
<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/bitstream/10086/26652/5/rdo0000200030.pdf>

坂野鉄也、官立高等商業学校の調査セクションと科外教育：彦根高等商業学校調査課の写真資料をてがかりとして、滋賀大学経済学部附属史料館研究紀要47、2014年、p39-45、査読無

坂野鉄也、戦前期高等商業学校における第二外国語：スペイン語を事例として、滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.204、2013年、p1-22、査読無
<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/eml/WP/No204.pdf>

坂野鉄也、神戸高等商業学校におけるスペイン語教育の様相、滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.198、2013年、p1-19、査読無
<http://mokuoku.biwako.shiga-u.ac.jp/WP/No198.pdf>

阿部安成、母の痕跡：歴史のなかの滋賀大学経済学部と彦根高等商業学校、滋賀大学経

済学部 Working Paper Series No.196、2013年、p1-21、査読無
<http://mokuoku.biwako.shiga-u.ac.jp/WP/No196.pdf>

阿部安成、おんなたちが学ぶ夜の場：長崎高等商業学校の夜学講習と受講者、女性史学23、2013年、p13-30、査読有

阿部安成、門前の小僧、筆を揮ふ：長崎高等商業学校生徒の卒業論文目録、滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.188、2013年、p1-71、査読無
<http://mokuoku.biwako.shiga-u.ac.jp/WP/No188.pdf>

阿部安成、蝶番としての海外修学旅行：20世紀前期帝国日本と高等商業学校研究の展望、一橋大学附属図書館研究開発室年報1、2013年、p23-42、査読無
<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/bitstream/10086/25661/1/rdo0000100230.pdf>

杉岳志、東京高商の修学旅行とその報告書、一橋大学附属図書館研究開発室年報1、2013年、p4-22、査読無
<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/bitstream/10086/25662/1/rdo0000100040.pdf>

阿部安成、講義録獺祭：長崎大学経済学部東南アジア研究所所蔵「長崎高等商業学校講義録」等目録、滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.178、2012年、p1-27、査読無
<http://mokuoku.biwako.shiga-u.ac.jp/WP/No178.pdf>

阿部安成、高商生の泰安亜行～Bon Voyage!：20世紀前期高等商業学校が実施した海外修学旅行の妙趣、滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.177、2012年、p1-23、査読無
<http://mokuoku.biwako.shiga-u.ac.jp/WP/No177.pdf>

坂野鉄也、官立高等商業学校における「第二外国語」教育の変遷、滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.167、2012年、p1-13、査読無
<http://mokuoku.biwako.shiga-u.ac.jp/WP/No167.pdf>

〔学会発表〕(計5件)

阿部安成、旧制高等商業学校の歴史資料と高商史を考える、長崎大学経済学部講演会、2014年7月12日、長崎大学(長崎県長崎市)

杉岳志、高商生の東北アジア調査、第23回近現代東北アジア地域史研究会大会、2013年12月14日、日本大学(東京都世田谷区)

研究者番号：40456306

坂野鉄也、戦前期高等商業学校における第二外国語教育：スペイン語を事例として、第9回京都言語教育研究会、2013年11月30日、京都大学（京都府京都市）

坂野 鉄也 (BANNO, Tetsuya)
滋賀大学・経済学部・准教授
研究者番号：90514620

杉岳志、目録にみる東京高等商業学校の蔵書の特徴、第16回日韓歴史共同研究シンポジウム、2013年8月20日、春川（韓国）

阿部安成、史料から考える彦根高等商業学校、第2回全国大学史資料協議会西日本部会研究会、2013年7月25日、滋賀大学（滋賀県彦根市）

〔図書〕(計1件)

長志珠絵（責任編集）ほか14名、週刊日本の歴史39近代4「国民」を生んだ帝国の文化、朝日新聞出版、2013年、総頁数39、p10-15

〔その他〕

坂野鉄也、展示「滋賀大学の歴史を識る彦根高等商業学校の英語科教科書」、2015年2月～4月、滋賀大学経済学部総合研究棟、滋賀県彦根市

阿部安成、坂野鉄也ほか、展示「平成25年度企画展/滋賀大学経済学部創立90周年記念/彦根高商の日々/聞け黙々として語る史書」、2013年10月～11月、滋賀大学経済学部附属史料館、滋賀県彦根市

杉岳志ほか、展示「旅する高商生たち：明治・大正期の修学旅行報告書」、2012年11月、一橋大学附属図書館公開展示室、東京都国立市

6. 研究組織

(1)研究代表者

阿部 安成 (ABE, Yasunari)

滋賀大学・経済学部・教授

研究者番号：10272775

(2)研究分担者

江竜 美子 (ERYU, Yoshiko)

滋賀大学・経済学部・助手

研究者番号：50242970

長 志珠絵 (OSA, Shizue)

神戸大学・国際文化学研究科・教授

研究者番号：30271399

菊地 利奈 (KIKUCHI, Rina)

滋賀大学・経済学部・准教授

研究者番号：00402701

杉 岳志 (SUGI, Takeshi)

島根県立大学短期大学部・総合文化学科・講師